

国際関連情報 国際会議等

第5回 IFRS リージョナル・
ポリシー・フォーラムについてFASF 企画室マネージャー やはた しずか
矢幡 静歌

はじめに

2011年5月23日・24日、インドネシアのバリ島で第5回 IFRS リージョナル・ポリシー・フォーラム（以下「フォーラム」という。）が開催された。フォーラムは、会計基準や規制との関係について、アジア・オセアニア地域における会計基準設定主体と規制当局を含む関係者が一堂に会して議論することを目的とするものであり、2005年に発足以降、1年に1回、各国の持ち回りで開催されている。以下、5月に開催されたフォーラムにおける議論について、紹介させていただく。

フォーラムの概要

インドネシア会計士協会（IAI）が主催した今回のフォーラムには、アジア・オセアニア地域21か国・法域から約300名の参加者が集まり、当該地域における国際財務報告基準（IFRS）の採用と収斂に関する課題や機会をテーマに、会計基準設定主体、規制当局や監査法人等が意見を交わした。国際会計基準審議会（IASB）からは Tweedie 議長、山田理事、及び McGregor 理事が、また、国際財務報告基準財

団（IFRS 財団）からは Lucy トラスティーが参加した。企業会計基準委員会（ASBJ）からは、西川委員長、加藤副委員長、及び関口専門研究員が、財務会計基準機構（FASF）からは筆者が参加した。

インドネシアの Boediono 副大統領等のスピーチでフォーラムが幕を開け、IASB の山田理事と McGregor 理事から、収益認識、金融商品、リース会計や保険会計に関するプロジェクトの進捗状況について説明が行われた。

その後、IFRS の採用と収斂に関する課題や機会に係る会計基準設定主体の役割について、プレゼンテーションが行われた。西川 ASBJ 委員長は ASBJ が直面する現状を説明し、その他、IASB の Tweedie 議長、インドネシア、韓国、及びインドの会計基準設定主体もそれぞれに関する説明を行った。プレゼンテーション後には、各国の課題や今後の IFRS 適用に関する準備や能力強化の重要性に関し議論が交わされた。

フォーラムの2日目には、4つのパネルセッションと IFRS 財団の戦略レビューに関する説明が行われた。1つ目のパネルセッションでは、規制当局の観点から見た IFRS の適用状況に関する説明があり、日本からは、金融庁 長岡国際会計調整室長が、IFRS 適用にかかる課題について説明を行った。その他、インドネシア、マレーシア及びインドより、同テーマに関する

説明が行われた。その他のセッションでは、民間企業、税務当局、及び監査法人等から見たIFRS適用にかかる課題と機会についてプレゼンテーションが行われた。民間企業のセッションでは、IFRS適用に関するトレーニングを通じた知識レベルの向上について意見交換が行われ、税務当局のディスカッションでは、IFRS適用と税法との関係について課題が話し合われた。また、監査法人や会計士協会とのセッションでは、監査人の解釈の一貫性の確保や、知識・スキルの向上等に関する課題について議論が行われた。

最後に、IFRS財団のLucyトラスティーとSeidenstein最高執行責任者から、当該財団の戦略レビューについて現在の進捗状況に関する説明がなされ、フォーラム参加者と質疑応答及び意見交換が行われた。IFRSの採用・収斂に関し、各国基準設定主体や地域基準設定主体グループ等とのより緊密な連携を通じ、高品質な会計基準設定を達成することの重要性等が確認された。

Communiqué

フォーラム閉会后、今回のフォーラムの成果等についてCommuniquéが公表され、主に以下の合意内容が記載された。

- IFRSの採用を最終的な目的とし、高品質で

グローバルな一組の会計基準を達成することを目標とする。なお、IFRSの採用は、収斂を通じて達成される場合もある。

- アジア・オセアニア地域の発言力を高めるためには、より一層の協働が必要である。各国の基準設定主体にとって、アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ(AOSSG)は、域内の共通課題について議論するための格好の場となろう。
- 各国の基準設定主体は、IASBのパートナーとして各国の課題について積極的にIASBにアドバイスを提供することを通じて、より重要な役割を果たすことになろう。
- 今後のIFRSを開発していく上で、アジア・オセアニア地域の意見が一層重要になろう。
- IFRSの採用は単に会計のみの問題ではなく、IFRSを成功裏に適用させるためには、政府や規制当局のサポートが不可欠である。
- IFRSをベースとした財務諸表の必要性を認識する投資家が増加している。このような投資家の要請は、特にグローバルに資金調達を行う企業にとって重要である。
- 税法はIFRSを考慮に入れる必要性があろう。
- IAIのリーダーシップの下に開催されたフォーラムが成功裏に閉幕した。

次回の会合は、2012年にマレーシアで開催される予定である。